

石巻工業港・石巻漁港・万石浦の防潮堤

津波・高潮対応とともに背後地にも配慮



防潮堤の整備状況

出典:位置図は空中写真データ(国土地理院)
(<http://maps.gsi.go.jp/>)をもとに株式会社ドローン作成

リバイブ いしのまき

石巻市街地にお住まいの皆さまに復興事業の情報を届けるため
2016年9月15日に創刊しました。

Vol.09 10月号
2018年10月15日発行

発行: 石巻市街地復興工事調整会議調整事務局
(国土省北上川下流河川事務所・宮城県東部土木事務所・石巻市)
連絡先: 石巻市復興事業部基盤整備課
☎0225-95-1111
(内線) 5517・5518

防潮堤の形にも違い

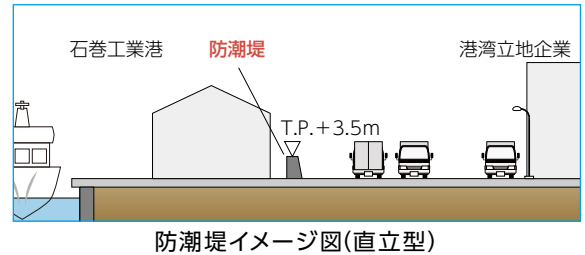
石巻市街地の海岸部では津波や高潮から、まちを守るための防潮堤建設を進めています。完成目標は長浜地区は平成30年度、石巻魚市場周辺や万石浦地区、石巻工業港は平成31年度です。防潮堤は数十年から百数十年という頻度で発生する津波(1津波)や高潮に対応しています。なお、漁港や工業港では港の特徴から外洋に面した防潮堤(防波堤を含む)とともに港内側にも防潮堤を整備しています。

防潮堤は海浜の利用形態、建設する地盤の状況などの条件から形に違いがあります。利用形態では漁港や工業港、海水浴場などがあります。これらから直立型、傾斜型などで整備しています。合わせて陸側近くの防潮堤にはステップを設置するなど安全対策上の工夫をしています。

④ 石巻工業港 (H31年度完成予定)

港湾利用企業に配慮

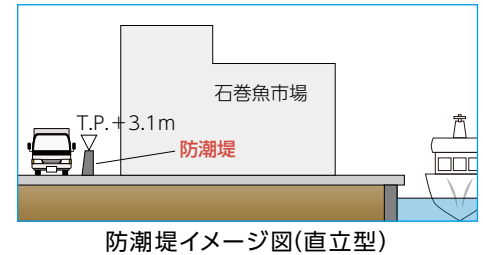
石巻工業港は外洋に面した防潮堤をT.P.+7.2mに設定しています。道路や岸壁に沿うように配置した内側の防潮堤はT.P.+3.5mとしています。道路と港湾施設は防潮堤で区切られますが、その入り口となる陸側は安全を第一としながら、出入りする車両の作業の支障にならないよう広さや段差などに配慮しています。



③ 石巻魚市場周辺 (H31年度完成予定)

緊急時の避難を容易に

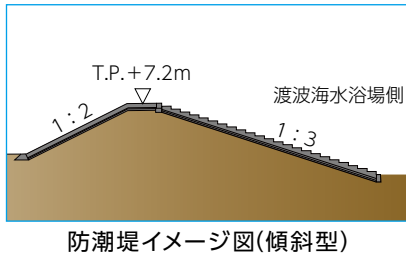
石巻魚市場周辺は外洋に面した防波堤がT.P.+7.2m、漁港内側の防潮堤はT.P.+3.1mの高さとしています。また、魚市場の背後に防潮堤が設置されるため、緊急時で陸側を閉じるときは、挟まれ防止装置により避難者の安全を確保します。このほか避難者が防潮堤を乗り越えられるようステップを設けるなどの安全対策も図っています。



② 長浜防潮堤 (H30年度完成予定)

海浜の利用を考えて

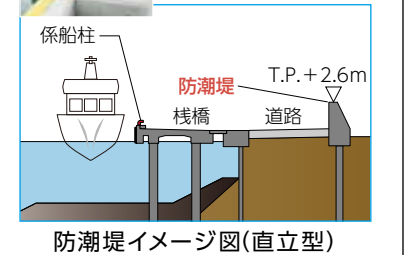
場所を移した渡波海水浴場が今夏、震災後初めて再開するなど、地元の方だけでなく多くの観光客も訪れるスポットとなっています。海水浴場付近は震災前の防潮堤よりも高く整備しています。また、防潮堤の海側の法面形状は階段状としています。



① 万石浦地区(H31年度完成予定)

漁業活動に配慮

棧橋と道路の間に計画していた防潮堤を道路より陸側の位置に変更し、棧橋に係留している船への漁業者車両の乗り入れや漁業活動がスムーズに行えるようにしています。漁業者の生業維持と生命・財産の安全確保の両面を実現できる形を目指しています。



※ T.P. ±0 = 東京湾の平均海面

リバイブいしのまきは、力強く復興を遂げることで石巻にお住まいの方が元気になり、注目を集める石巻になるようお願いを込めて「リバイブ」と名づけています。